

令和4年11月21日

# 交通事故概況

令和4年10月中計上数(確定数)

警察本部交通部交通企画課

## 北海道の交通事故概況（10月中計上数（確定数））

### 1 令和4年10月中の交通事故発生状況

区分\内容	10月中		10月末	
		前年比		前年比
発生件数（件）	771	63	6,864	191
死者数（人）	13	1	96	1
傷者数（人）	880	87	7,964	244

[過去10年、10月中及び年間死者の推移]

区分\年別	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	過去平均		R4年
												10か年	
10月中死者	19	23	16	19	19	16	10	21	11	12	17	14	13
10月末死者	152	147	144	151	122	122	114	125	115	95	129	114	96
年間死者	200	184	169	177	158	148	141	152	144	120	159	141	—

都道府県別（10月中）

順位	1	2	3	4	5
都道府県名	愛知	東京	千葉	北海道	大阪 岐阜
死者数	17	15	14	13	11

都道府県別（10月末）

順位	1	2	3	4	6
都道府県名	大阪	愛知	東京	千葉 兵庫	北海道
死者数	115	111	105	100	96

### 2 交通死亡事故の発生状況

#### (1) 10月中の死亡事故（死者13人）

- 事故類型別：車両単独が9人（69.2%）
- 道路別：国道が7人（53.8%）、市町村道が4人（30.8%）
- 地形・道路形状別：非市街地カーブが5人（38.5%）、非市街地直線が4人（30.8%）
- 発生時間別：14～16時が4人（30.8%）、8～10時、10～12時、12～14時、16～18時が各々2人（15.4%）
- 第一当事者年齢別：40歳代運転者、高齢運転者による死者が各々4人（30.8%）
- 第一当事者違反別：前方不注意が4人（30.8%）、操作不適が3人（23.1%）
- 死者年齢別：高齢者の死者が6人（46.2%）、40歳代の死者が3人（23.1%）

#### (2) 10月末の死亡事故（死者96人）

- 事故類型別：
  - ・ 車両単独が40人41.7%（うち前方不注意が11人27.5%、最高速度が10人25.0%）
  - ・ 人対車両が23人24.0%（うち前方不注意が10人43.5%、歩行者妨害、安全運転その他が各々5人21.7%）
- 道路別：
  - ・ 国道が37人38.5%（うち車両単独が14人37.8%、正面衝突が11人29.7%）
  - ・ 市町村道が26人27.1%（うち車両単独が11人42.3%、人対車両が10人38.5%）
  - ・ 道道が25人26.0%（うち車両単独が11人44.0%、人対車両が6人24.0%）
- 地形・道路形状別：
  - ・ 市街地交差点が26人27.1%（うち人対車両が10人38.5%、自転車対車が6人23.1%）
  - ・ 非市街地直線が22人22.9%（うち車両単独が13人59.1%、正面衝突が6人27.3%）
- 発生時間別：
  - ・ 14～16時が17人17.7%（うち車両単独が9人52.9%）
  - ・ 10～12時が15人15.6%（うち正面衝突が6人40.0%、車両単独が5人33.3%、人対車両が4人26.7%）
  - ・ 8～10時が12人12.5%（うち車両単独が6人50.0%）
- 第一当事者年齢別：
  - ・ 高齢運転者による死者が35人36.5%（うち車両単独が11人31.4%、正面衝突が8人22.9%、人対車両が7人20.0%）
  - ・ 40歳代運転者による死者が17人17.7%（うち車両単独が8人47.1%、人対車両、出会い頭が各々3人17.6%）
  - ・ 50歳代運転者による死者が14人14.6%（うち車両単独が8人57.1%、人対車両が5人35.7%）
- 第一当事者違反別：
  - ・ 前方不注意が29人30.2%（うち車両単独が11人37.9%、人対車両が10人34.5%）
  - ・ 操作不適が13人13.5%（うち車両単独が8人61.5%、正面衝突が5人38.5%）
  - ・ 最高速度が12人12.5%（うち車両単独が10人83.3%）
- 死者年齢別：
  - ・ 高齢者の死者が52人54.2%（うち人対車両、車両単独が各々18人34.6%）
  - ・ 40歳代の死者が16人16.7%（うち車両単独が9人56.3%）
- シートベルト着用者：
 

自動車乗車中の死者41人中、シートベルト非着用者は14人（34.1%）であり、このうち12人はシートベルトを装着していれば助かった可能性がある。

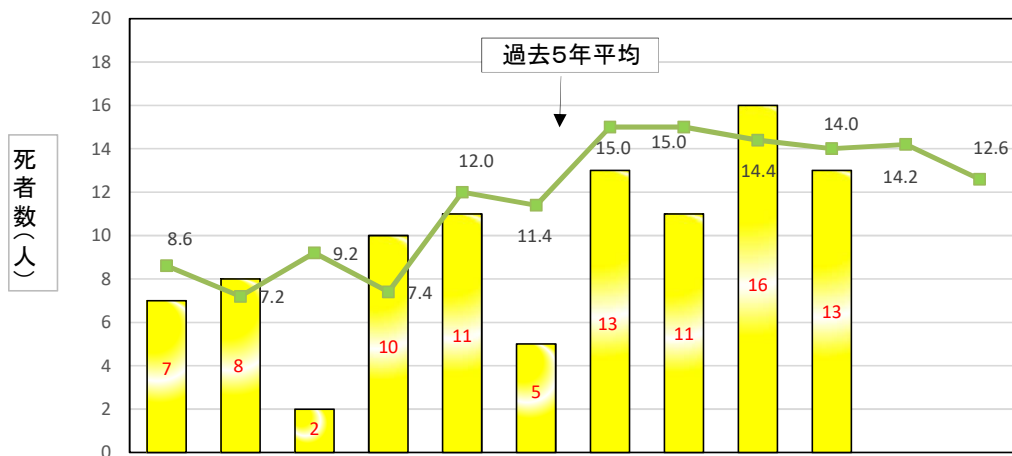
(3) 方面別発生状況

10月中の死者数は札幌方面、釧路方面が各々5人(38.5%)、旭川方面、函館方面、北見方面が各々1人(7.7%)となっている。  
 10月末の死者数は札幌方面が49人(51.0%)、旭川方面が19人(19.8%)、釧路方面が18人(18.8%)、函館方面が6人(6.3%)、北見方面が4人(4.2%)となっている。

方面別\区分	発生件数	前年比		死者数	前年比		傷者数	前年比	
		発生件数	前年比		死者数	前年比		傷者数	前年比
10月中	全道	771	63	13	1	880	87		
	札幌方面	604	78	5	-1	689	105		
	函館方面	42	-11	1	-1	48	-9		
	旭川方面	48	-7	1	-1	57	-14		
	釧路方面	64	13	5	3	73	17		
	北見方面	13	-10	1	1	13	-12		
10月末	全道	6,864	191	96	1	7,964	244		
	札幌方面	5,166	285	49	3	5,964	350		
	函館方面	487	4	6	-6	582	17		
	旭川方面	536	-31	19	4	653	-40		
	釧路方面	511	-42	18	1	567	-58		
	北見方面	164	-25	4	-1	198	-25		

(4) 月別発生状況の推移

10月中の死者数は13人で過去5年平均14.0人を下回っている。  
 10月末の死者数は96人で過去5年平均114.2人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和4年	7	8	2	10	11	5	13	11	16	13			96
年間累計	7	15	17	27	38	43	56	67	83	96			
過去5年平均	8.6	7.2	9.2	7.4	12.0	11.4	15.0	15.0	14.4	14.0	14.2	12.6	141.0
累計平均	8.6	15.8	25.0	32.4	44.4	55.8	70.8	85.8	100.2	114.2	128.4	141.0	

(5) 都道府県別死者

10月中は愛知県が17人で最も多く、次いで東京都が15人で千葉県が14人、北海道が13人で大阪府と岐阜県が各々11人となっている。

10月末は大阪府が115人で最も多く、愛知県が111人、東京都が105人、兵庫県と千葉県が各々100人で北海道は96人で6位となっている。

区分\都道府県	愛知	東京	千葉	北海道	大阪	岐阜	兵庫	神奈川	静岡	新潟	全国
10月中死者数	17	15	14	13	11	11	9	9	9	9	261
ワースト順位	1	2	3	4	5	5	7	7	7	7	-
前年比	6	6	3	1	-2	4	-2	-7	0	4	-12
増減率(%)	54.5	66.7	27.3	8.3	-15.4	57.1	-18.2	-43.8	0.0	80.0	-4.4

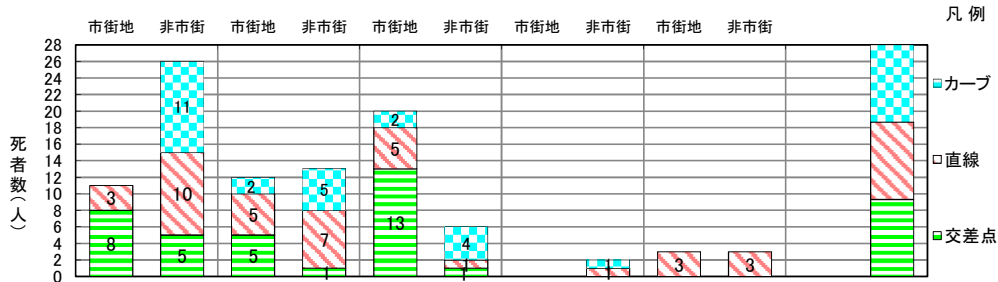
区分\都道府県	大阪	愛知	東京	兵庫	千葉	北海道	埼玉	神奈川	茨城	静岡	全国
10月末死者数	115	111	105	100	100	96	86	85	64	62	2,078
ワースト順位	1	2	3	4	4	6	7	8	9	10	-
前年比	0	24	5	12	6	1	-10	-27	1	-10	-23
増減率(%)	0.0	27.6	5.0	13.6	6.4	1.1	-10.4	-24.1	1.6	-13.9	-1.1

### 3 死亡事故の特徴

#### (1) 道路別

国道が37人(38.5%)で最も多く、市町村道が26人(27.1%)、道道が25人(26.0%)となっている。

- ・ 国道は非市街地カーブが11人(29.7%)、非市街地直線が10人(27.0%)
- ・ 市町村道は市街地交差点が13人(50.0%)となっている。
- ・ 道道は非市街地直線が7人(28.0%)、市街地交差点、直線、非市街地カーブが各々5人(20.0%)となっている。

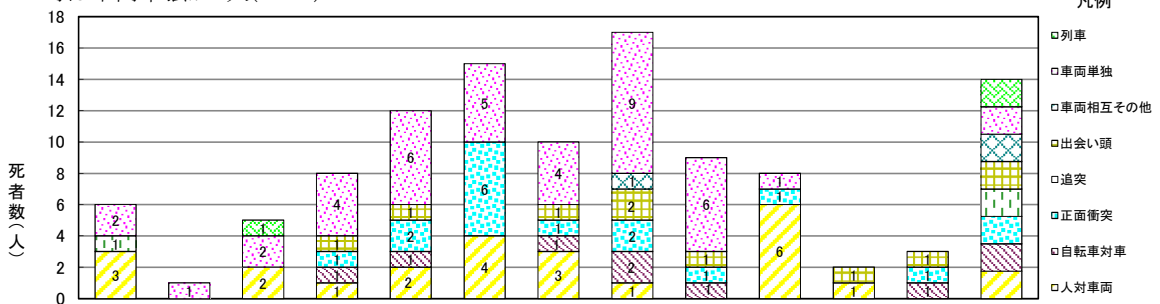


区分\道路別	国道	道道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死者数	37	25	26	2	6	96
構成率(%)	38.5	26.0	27.1	2.1	6.3	100.0
過去5年構成率	41.3	22.6	28.8	2.4	5.0	100.0

#### (2) 時間別

14～16時が17人(17.7%)、10～12時が15人(15.6%)、8～10時が12人(12.5%)となっている。

- ・ 14～16時は車両単独が9人(52.9%)
- ・ 10～12時は正面衝突が6人(40.0%)、車両単独が5人(33.3%)、人対車両が4人(26.7%)
- ・ 8～10時は車両単独が6人(50.0%)

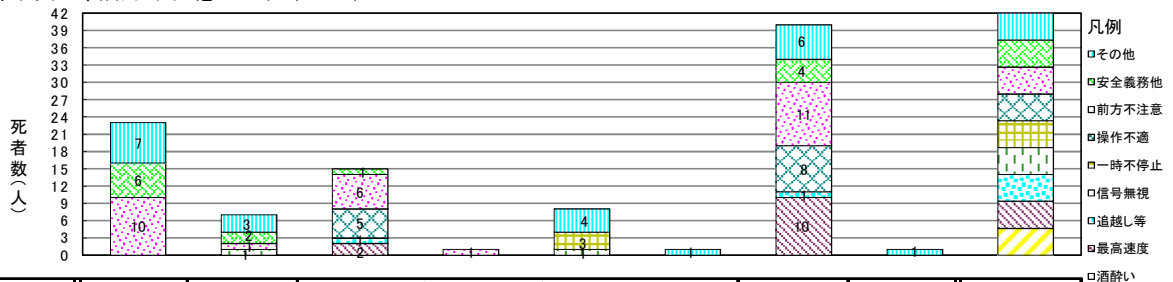


区分\時間別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	計
死者数	6	1	5	8	12	15	10	17	9	8	2	3	96
構成率(%)	6.3	1.0	5.2	8.3	12.5	15.6	10.4	17.7	9.4	8.3	2.1	3.1	100.0
過去5年構成率	3.7	2.8	4.6	7.0	11.2	15.4	12.3	14.1	9.5	9.4	5.7	4.4	100.0

#### (3) 事故類型別

車両単独が40人(41.7%)、人対車両が23人(24.0%)となっている。

- ・ 車両単独は、前方不注意が11人(27.5%)、最高速度が10人(25.0%)
- ・ 人対車両は、前方不注意が10人(43.5%)

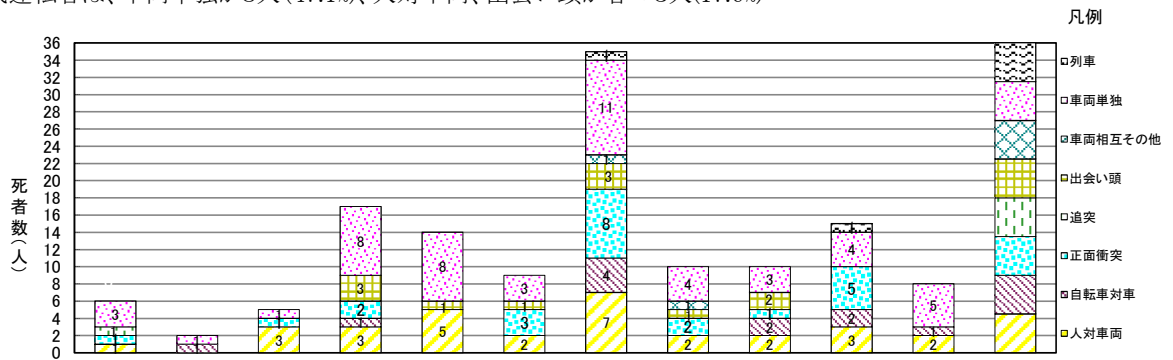


区分\類型別	人対車両	自転車対車	車両相互				車両単独	列車	計
			正面衝突	追突	出会い頭	その他			
死者数	23	7	15	1	8	1	40	1	96
構成率(%)	24.0	7.3	15.6	1.0	8.3	1.0	41.7	1.0	100.0
過去5年構成率	26.2	5.9	19.4	3.3	9.5	4.8	30.3	0.6	100.0

(4) 第一当事者の年齢層別

高齢運転者によるものが35人(36.5%)、40歳代運転者が17人(17.7%)となっている。

- ・ 高齢運転者は、車両単独が11人(31.4%)、正面衝突が8人(22.9%)
- ・ 40歳代運転者は、車両単独が8人(47.1%)、人対車両、出合い頭が各々3人(17.6%)



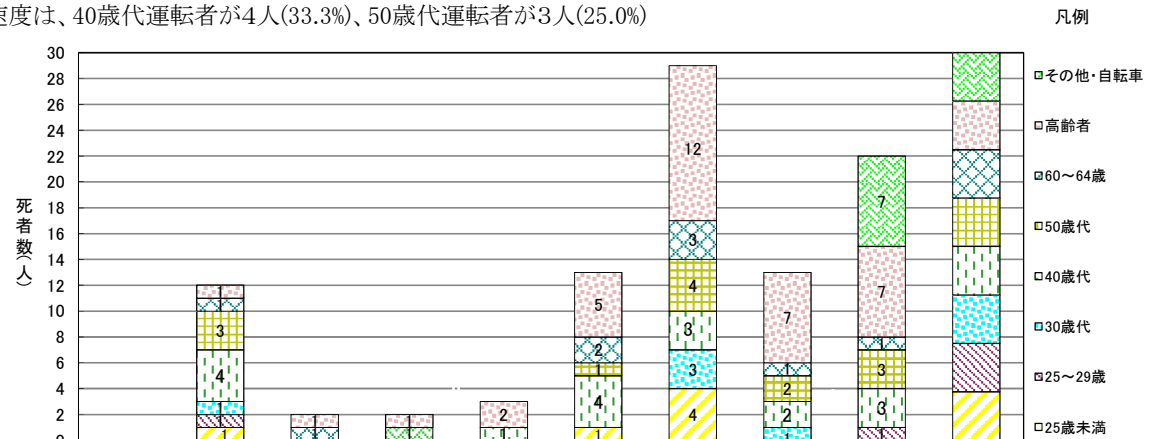
区分\年齢別	25歳未満	25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者	65-69歳	70-74歳	75歳以上	歩行者等・不明	計
死者数	6	2	5	17	14	9	35	10	10	15	8	96
構成率 (%)	6.3	2.1	5.2	17.7	14.6	9.4	36.5	10.4	10.4	15.6	8.3	100.0
過去5年構成率	10.1	3.5	10.5	15.4	14.1	8.1	33.4	9.5	7.5	16.3	5.0	100.0

構成率は全死者に対する割合

(5) 第一当事者の違反(原因)別

前方不注意によるものが29人(30.2%)、操作不適が13人(13.5%)、最高速度が12人(12.5%)。

- ・ 前方不注意は、高齢運転者が12人(41.4%)、25歳未満、50歳代運転者が各々4人(13.8%)
- ・ 操作不適は、高齢運転者が5人(38.5%)、40歳代運転者が4人(30.8%)
- ・ 最高速度は、40歳代運転者が4人(33.3%)、50歳代運転者が3人(25.0%)



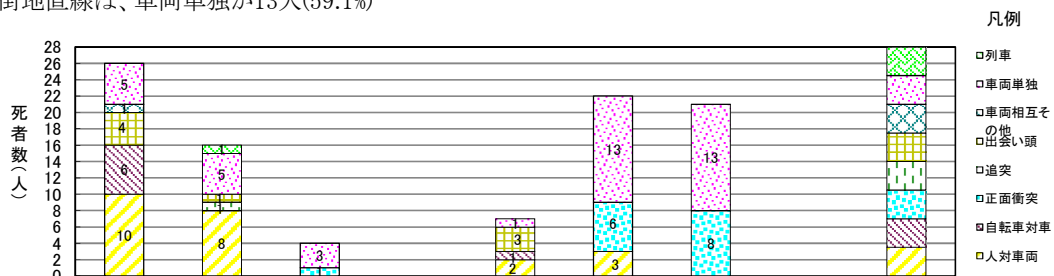
区分\原因別	酒酔い	最高速度	追越し等	信号無視	一時不停止	安全運転義務違反			その他	計
						操作不適	前方不注意	その他		
死者数		12	2	2	3	13	29	13	22	96
構成率 (%)		12.5	2.1	2.1	3.1	13.5	30.2	13.5	22.9	100.0
過去5年構成率	0.4	10.8	2.4	3.5	4.8	12.1	34.1	9.5	22.4	100.0

※ その他に自転車等を含む

(6) 地形・道路形状別

市街地交差点が26人(27.1%)、非市街地直線が22人(22.9%)。

- ・ 市街地交差点は、人対車両が10人(38.5%)、自転車対車が6人(23.1%)
- ・ 非市街地直線は、車両単独が13人(59.1%)



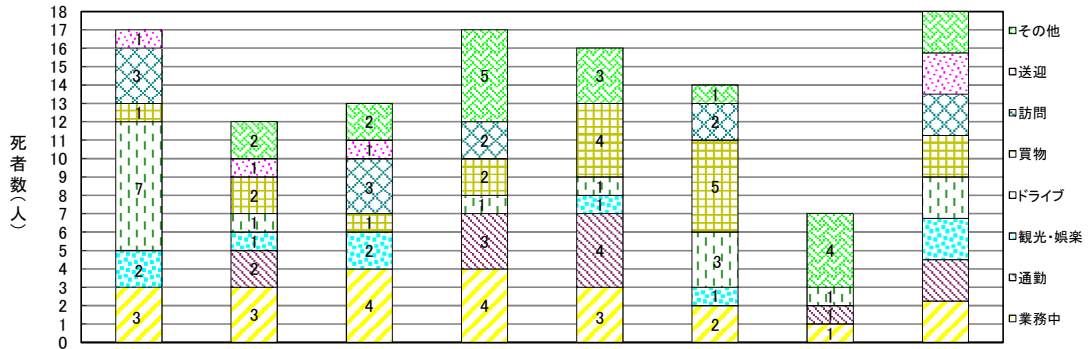
地形道路形状別	市街地				非市街地				計
	交差点	直線	カーブ	小計	交差点	直線	カーブ	小計	
死者数	26	16	4	46	7	22	21	50	96
構成率 (%)	27.1	16.7	4.2	47.9	7.3	22.9	21.9	52.1	100.0
過去5年構成率	32.5	13.4	3.3	49.2	8.1	23.5	19.3	50.8	100.0

(7) 曜日別

日曜日と水曜日が各々17人(17.7%)となっている。

- ・ 日曜日は、ドライブが7人(41.2%)、訪問と業務中が各々3人(17.6%)
- ・ 水曜日は、業務中が4人(23.5%)、通勤が3人(17.6%)

凡例



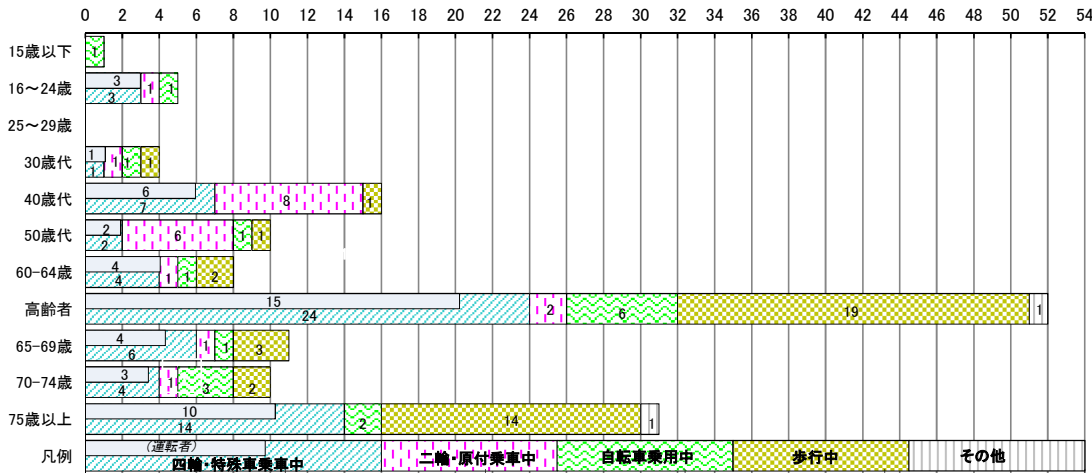
区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	17	12	13	17	16	14	7	96
構成率(%)	17.7	12.5	13.5	17.7	16.7	14.6	7.3	100.0
過去5年構成率	16.3	11.6	15.6	16.0	13.6	13.6	13.4	100.0

(8) 状態別・年齢層別

四輪乗車中が41人(42.7%)で最も多く、歩行中が24人(25.0%)となっている。

- ・ 四輪乗車中は、高齢者が24人(58.5%)、40歳代が7人(17.1%)
- ・ 歩行中は、高齢者が19人(79.2%)
- ・ 年齢層別では、高齢者が52人(54.2%)で、うち75歳以上が31人(59.6%)となっている。

死者数(人)



状態別 年齢層別	死者数	四輪乗車中 (特殊車を含む)	二輪乗車中 (原付を含む)	自転車乗車中	歩行中	その他	計		
							構成率	5年構成率	
15歳以下	1			1			1	1.0	2.0
16~24歳	5	3	1	1			5	5.2	7.0
25~29歳	2								2.6
30歳代	4	1	1	1	1		4	4.2	7.0
40歳代	16	7	8		1		16	16.7	9.7
50歳代	10	2	6	1	1		10	10.4	11.0
60~64歳	8	4	1	1	2		8	8.3	6.6
高齢者	52	24	2	6	19	1	52	54.2	54.1
65~69歳	11	6	1	1	3		11	11.5	11.0
70~74歳	10	4	1	3	2		10	10.4	9.4
75歳以上	31	14		2	14	1	31	32.3	33.8
計	死者数	41	19	11	24	1	96	100.0	
	構成率	42.7	19.8	11.5	25.0	1.0	100.0	—	—
	過去5年構成率	51.0	14.3	7.2	27.0	0.6	100.0	—	—

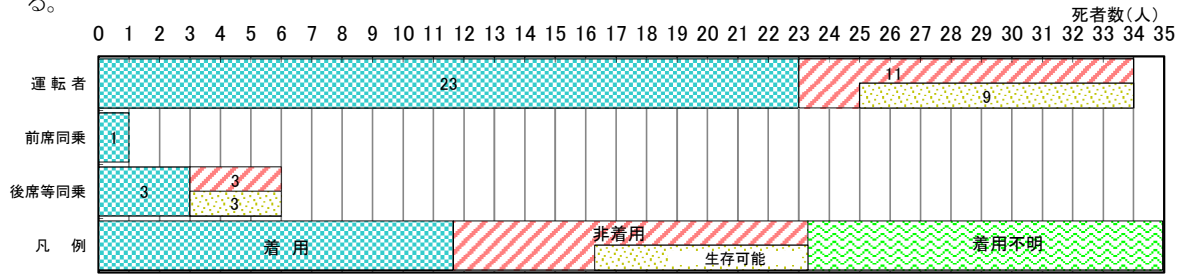
注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

自動車乗車中の死者41人中、シートベルト非着用者は14人(34.1%)となっている。

非着用者12人(運転席は9人)は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性がある。



区分	四輪乗車中等	着用			非着用			着用不明		
		計	運転者	同乗者 助手席 後部席	計	運転者 生存可	同乗者(助手席) 生存可		同乗者(後部席) 生存可	
令和4年	41	27	23	1	3	14	11	9	3	3
構成率(%)	100.0	65.9	85.2	3.7	11.1	34.1	78.6	81.8	21.4	

イ 年齢層別

シートベルト非着用者14人を年齢層別にみると、高齢者が8人(57.1%)、40歳代が5人(35.7%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者	65~69歳	70~74歳	75歳以上	その他・不明	計
	シート着用	3		1	2	2	3	16	4	3	9	
構成率(%)	11.1		3.7	7.4	7.4	11.1	59.3	14.8	11.1	33.3		100.0
シート非着用				5		1	8	2	1	5		14
構成率(%)				35.7		7.1	57.1	14.3	7.1	35.7		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。  
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者14人の人身損傷加害部位をみると、車内他が3人、車外放出、ハンドル、座席が各々2人、車外他、フロントガラスが各々1人となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	フロントガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	車内他	その他	計
シート着用	1	2	5					2	5	7	2	24
構成率(%)	4.2	8.3	20.8					8.3	20.8	29.2	8.3	100.0
シート非着用	2	1	2	1					2	3	3	14
構成率(%)	14.3	7.1	14.3	7.1					14.3	21.4	21.4	100.0
運転者	2	1	2						1	3	2	11
構成率(%)	14.3	7.1	14.3						7.1	21.4	14.3	78.6
同乗者				1					1		1	3
構成率(%)				7.1					7.1		7.1	21.4

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。  
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。